

BTM

三輪車 取扱説明書



保護者の方へ～必ずお読みください

ご注意

- ・本製品をご使用時は必ず保護者の監督下でご使用ください。
- ・乗車前の点検として、ハンドル・車輪・サドルにガタ付きや緩みがないことを確かめてください。
- ・押棒、足乗せステップ、セーフティカードは自分で三輪車をこげない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実に着き、自分でこげる用になりましたら押し棒、足乗せステップ、セーフティカードが取り外してください。
- ・屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしたり水をかけないでください。

警告

- ・素足で車輪に巻き込まれると危険ですので、三輪車に乗る際にはお子様に靴をはかせてください。
- ・安全のため、押し棒はお子様は触らせないようにしてください。また保護者が押し棒を操作するには必ずフリーペダルをご使用ください。
- ・幼児はサドルの上に立ち上がらないように注意してください。また、押し棒に寄りかかると三輪車と共に転倒する危険があります。十分に注意してください。
- ・坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- ・斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。
- ・危険ですので、二人乗らないでください。
- ・三輪車以外の目的で使用しないでください。
- ・小さいな部品があります。組み立てる際、誤飲の恐れがありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。
- ・梱包用の袋で遊ばないでください。窒息の危険があります。

保証規定

正常な使用状態において製造上の不備により故障した場合は、お買い上げの日から"1年間無料にて修理いたしますので当社のカスタマーサービスへご連絡ください。"
"次のような場合は、保証対象外となります。"

1. 取扱説明書以外の誤操作、取扱上の不注意。
2. 製品の自然劣化・変色。
3. お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷の場合。
4. 火災・地震・水害及びその他の天災・地変等による故障及び損傷の場合。
5. 保管上の不備。
6. 本製品によって床面の擦り傷や汚れなどの場合。
7. 本製品本来の使用目的以外での使用。
8. 注意を怠った結果に起きたもの。

初期不良の可能性もございますので、商品到着後は外箱及び梱包材は保管してください。
梱包材が無い場合は返品等受けられない場合がございます。

パーツリスト



1. 本体フレーム



2. 前輪



3. 二重ステップ



4. ペダル固定ノブ



5. ストッパー (L+R)



6. 後輪*2



7. リアかご



8. 押棒



9. ドリンクホルダー



10. サンシェード



11. 前かご

組み立て方

1 本体フレームの取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：1.本体フレーム



矢印の方向に開きます

2 前輪、後輪の取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：5.ストッパー (L+R) 6.後輪*2 2.前輪



- ①ストッパーを本体フレームに差し込んでください。
- ②後輪をストッパーに差し込んでください。
左右が乱れないようにご注意ください。
- ③前輪をフロントフォークに差し込んでください。

3 二重ステップと背もたれとハンドルの取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：3.二重ステップ 4.ペダル固定ノブ 1.本体フレーム



- ①二重ステップを1のフロントフォークの下において、二重ステップの穴とフロントフォークの穴と合わせてください。
- ②二重ステップを固定ノブで締めてください。
- ③背もたれの取っ手を握て、似合う角度に調整してください。
- ④ハンドルを矢印の方向にしてください。

組み立て方

4 サンシェードの取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：10.サンシェード



サンシェードを背もたれに差し込んでください。

5 押棒の取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：8.押棒 9.ドリンクホルダー



- ①「カチッ」と音がするまで、押し棒を本体に差し込んでください。
- ②ドリンクホルダーをたてばりに沿って差し込んでください

6 リアかごの取り付け

- 組み立てに必要なパーツ：7.リアかご



リアかごを点線の位置に差し込んでください。

使い方

1 座席の調整



①本体フレームの後ろ部分のボタンを押し、座席の角度が調整可能です。



②座席の側面につまみがあり、上にあげるとコック解除、座席を前後に調整でき、下に下げるとロック状態になります。

2 押し棒の調整



押し棒についている栓を押し、高さが調整可能です。

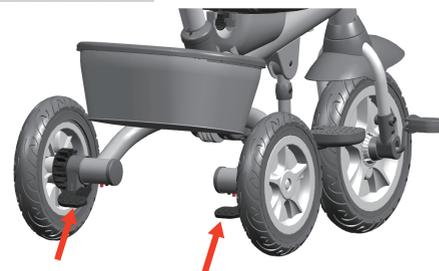
3 背もたれの調整



図のように背もたれの上の部分のボタンを押し、背もたれの角度が調整できます。

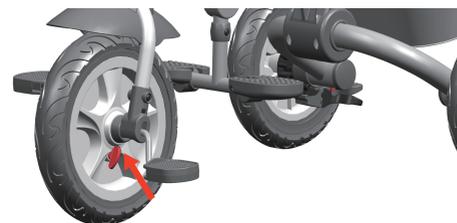
使い方

4 後輪の調整



後輪部分のストッパーを下に下げるとロック状態になります。

5 前輪の調整



前輪についているストッパーを時計回って、前輪がロック状態になります。その後、反時計回りするとロックができます。

6 ペダルの調整



足置きフレームにある黒いカバーを下に下げ、ペダルを下します。逆に収納できます。